

種苗量産技術開発事業

カサゴの種苗生産（令和2年度生産群）

東 一輝

強いカサゴについて、種苗量産技術開発試験を行った。
本報では、R2年度に生産開始したR3放流分について、
中間育成以降の概要を報告する。

方 法

カサゴ種苗はR2生産群¹⁾を用いた。中間育成は、屋
外50m³コンクリート水槽（水量40～45m³程度）3面と
屋外30m³コンクリート水槽（水量20～25m³程度）を使
用して約35mmサイズから開始した。

餌料は配合飼料えづけーる0号、1号、2号（中部飼料）
を使用した。給餌量は魚体中の10%とした。基本的に
自動給餌器による給餌とし、一部手撒きも併せて行った。

飼育水は、砂ろ過海水を使用し、16.2～21.4℃の自
然水温で飼育した。換水率は、6～10回転/日程度で適
宜調節を行った。

その他の方法については、引き続き稚魚飼育と同様の
方法で行った。

結果および考察

各生産回次別の中間育成の飼育経過及び生産結果につ
いて表1に、令和3年度の配布実績について表2に示す。
種苗放流推進事業で放流する種苗については、60～
70mmサイズまで中間育成を行い、6月上旬～6月下旬
に放流した。

また、その他に小川島漁協に対し有償配布、啓発放流
のリレー放流用種苗として無償配布を行った。

文 献

- 1) 山口大輝・中原啓太（2020），種苗量産技術開発事業.カ
サゴの種苗生産.令和2年度佐玄水業報,58-60

表1 カサゴ中間育成結果

生産回次	開始日	飼育水量 (m ³)	収容尾数 (千尾)	水温 (℃)	換水率	開始時 全長 (mm)	使用海水	配合飼料の 給餌量 給餌率	底掃除 (回/週)	取り揚げ		
										月日(日令)	尾数 (千尾)	生残率 (%)
1R	4/22											
2R	5/13	40～45	13～41	16.2～21.4	10回転	約35	砂濾過	魚体重の10%	2～3	144～156	107.0	75.3
3R	5/21											

表2 令和3年度カサゴ配布実績

配布予定 時期	配布尾数 (万尾)	TL (mm)	配布先・用途	備考
6月上旬～ 6月下旬	9.0	60-70	種苗放流推進事業	有償
6月上旬	0.3	50-60	小川島漁協	有償
7月上旬～ 7月下旬	0.4	50-60	リレー放流	無償
9.5				